

都道府県別賞一等

生命保険を「選ぶ」ことについて考えたこと

福岡県 福岡教育大学附属福岡中学校 一学年

山田 伊織

今、日本には生命保険会社が四十二社ある。一つの生命保険会社でも、様々な生命保険があり、今も生命保険の種類は多様化し続けている。このことを知って私にはある疑問が残った。

「自分に合った生命保険をどうやって選べばいいのだろう。」

この疑問を解決すべく、父に生命保険について聞いてみることにした。

父からはまず、生命保険を契約した理由について聞かせてもらった。

「結婚や出産、自分の家を購入したときなどに、万が一に備えての安心材料として契約したよ。」

生命保険については、医療保険や死亡保険、こども保険など、なにを保障するのかによって様々だ。また、保険料の金額も、それぞれ違う。だから、次に生命保険をどのようにして選んだのかを聞かせてもらった。

「生命保険を契約したときは、自分で調べたり、ファイナンシャルプランナーの人に聞いたりしたよ。」

やはり、今も多様化している生命保険を選ぶのは、自分で調べたり、生命保険について詳しく知っている人に聞いたりしなければならぬことが分かった。でも、なぜこのように生命保険は多様化したのだろうか。父の話は続いた。「生命保険は、掛け捨て型と積立型を交互に使い分けているよ。ガン保険や、普通の生命保険は掛け捨て型で、学資準備のための保険や、住宅ローンの返済に備えるための保険は積立型にしているよ。」

掛け捨て型の保険は、保険料が安いのが、保障期間が満了するまでに保障の範囲内のことが起きなかつたら保険金はもらえず、お金も戻ってこない保険だ。また、貯蓄型の保険は保険料が高いが、万が一のときに保険金を受け取ることができるのに加えて、解約したり、保険が満期を迎えたりしたときは、支払った保険料の一部が戻ってくるような保険だ。つまり、掛け捨て型の保険にも貯蓄型の保険にも長所や短所があるということだ。

父の話聞いて、生命保険が今、多様化し続けているのは、生命保険が「どのようなことを保障するのか」や「保険料はいくらぐらいなのか」、「掛け捨て型と貯蓄型のどちらか」という点を踏まえて、契約する人のニーズに合わせているからだと考えた。生命保険が多様化しているからこそ、自分で生命保険について調べたり、保険について詳しく知っている人に相談したりして、自分に

第60回中学生作文コンクール

合った生命保険を選ぶことが大事だと思った。

だが、この多様化している生命保険を選んで契約するのには時間と手間がとてもおかかると思う。だから、生命保険を契約したいと思っても、時間がなくて忙しい人などは、自分に合った生命保険を選べないのではないかと考えた。

生命保険を簡単に選べるようにするにはどうすればいいかと考えたときに、私は全ての保険を含んだ診断チャートがあればいいなと思った。診断チャートがあれば、生命保険を契約しようと思っている人はいくつかの質問にイエスカノーで答えるだけで、自分に合った生命保険を簡単に選ぶことができるのだ。このようなものがあれば、保険を簡単に、そして正確に選んだり、契約したりすることができると思った。

今の生命保険は多様化して、選ぶのがとても難しくなっている。だが、多様化しているからこそ、その分、自分のニーズに合った生命保険がある可能性が高くなってきている。今は、生命保険を契約しようと思っている人が自分で調べたり、有識者に相談したりして生命保険を契約しているが、もっと簡単に生命保険を選ぶ仕組みができればいいなと思った。